



報道発表

平成 29 年 2 月 23 日
東 京 税 関
成 田 税 関 支 署

成田国際空港密輸概況【平成 28 年】

【最近の密輸情勢等】

◎覚醒剤密輸の動向（前年比約 1.5 倍の摘発件数）

成田税関支署における覚醒剤密輸入事件の摘発件数は 28 件、押収量は約 72 キロであった。

覚醒剤の押収量は、成田税関支署における不正薬物^{※1} 全体の押収量の約 4 分の 3^{※2} を占める。

密輸手口の傾向としては、香港、台湾からの身辺隠匿、アフリカからの食品に偽装した隠匿が目立つ。

また、スーツケースと一体形成されたもの^{※3} など、新たな隠匿手口によるものもあった。

※1 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA 等）、向精神薬及び指定薬物をいう。

※2 成田空港管内での最大押収量は航空貨物による約 19 キロ、旅客による最大押収量は約 10 キロであった（いずれもアフリカ来）。

※3 覚醒剤を樹脂様のものにねり込んでスーツケースの内側に塗り固めるようにして隠匿されていた。

◎その他の薬物密輸の動向

【大麻】

摘発件数は 16 件と昨年と同水準も、全て自己使用量の少量の事犯であり、押収量は大きく減少した。

【コカイン】

摘発件数は 3 件、押収量は約 24 キロであった。

【指定薬物】

摘発件数は 8 件、押収量は約 187 グラムであった。

「RUSH」に代表される亜硝酸エステル系液体状薬物の他、通称 α—POP、TH—PVP などの粉末状薬物であった。

1. 成田国際空港における密輸事犯摘発状況一覧表

社会悪事犯		平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	
						前年比	
覚醒剤	件 数	71	82	83	18	28	155.6%
	押収量(kg)	171	269	181	80	72	89.5%
	押収量(錠)	0	0	-	-	-	-
大麻(樹脂含む)	件 数	31	8	13	15	16	106.7%
	押収量(kg)	109	2	45	1	0	43.3%
あへん	件 数	1	0	1	0	0	-
	押収量(kg)	-	0	-	-	-	-
麻薬	件 数	13	66	5	8	10	125.0%
	押収量(点)	0	0	-	-	-	-
	押収量(kg)	1	1	2	22	24	110.2%
ヘロイン	件 数	0	1	1	0	0	-
	押収量(kg)	-	1	0	0	-	全減
コカイン	件 数	2	2	1	1	3	300.0%
	押収量(kg)	1	0	2	18	24	133.8%
MDMA	件 数	1	1	0	0	0	-
	押収量(錠)	-	0	-	-	-	-
	押収量(kg)	0	-	0	-	-	-
その他麻薬	件 数	10	62	3	7	7	100.0%
	押収量(点)	0	-	-	-	-	-
	押収量(kg)	0	0	0	4	0	2.8%
向精神薬	件 数	7	0	0	0	1	全増
	押収量(錠)	1	-	-	-	0	全増
	押収量(kg)	-	-	-	0	-	全減
指定薬物	件 数				2	8	400.0%
	押収量(kg)				0	0	386.4%
合計	件 数	123	156	102	43	63	146.5%
	押収量(kg)	281	272	228	103	96	93.6%
	押収量(点)	2	0	-	-	0	全増
銃砲類	件 数	0	0	0	0	1	全増
	押収量(丁)	0	0	0	0	1	全増
総 摘 発 件 数		123	156	102	43	64	148.8%

* 1. 1件の摘発で犯則物件が複数の場合は、件数は主たる事犯に、数量はそれぞれの欄に計上した。

また、税関が摘発した密輸事件に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。

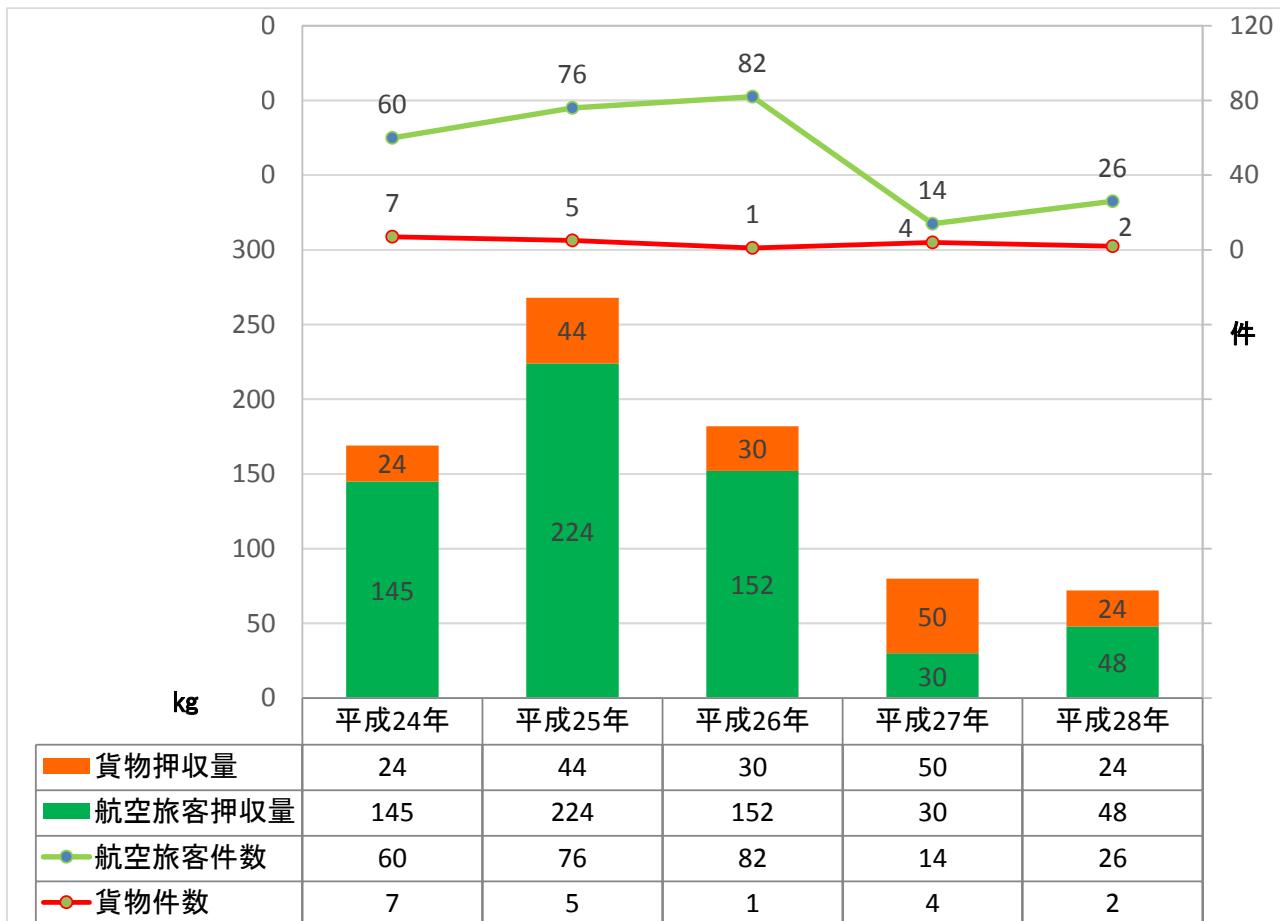
2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計数量を示す。

3. MDMAは、MDMA及びMDA等の合成麻薬の合計数量を示す。

4. 薬物の数量表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全くない場合を示す。

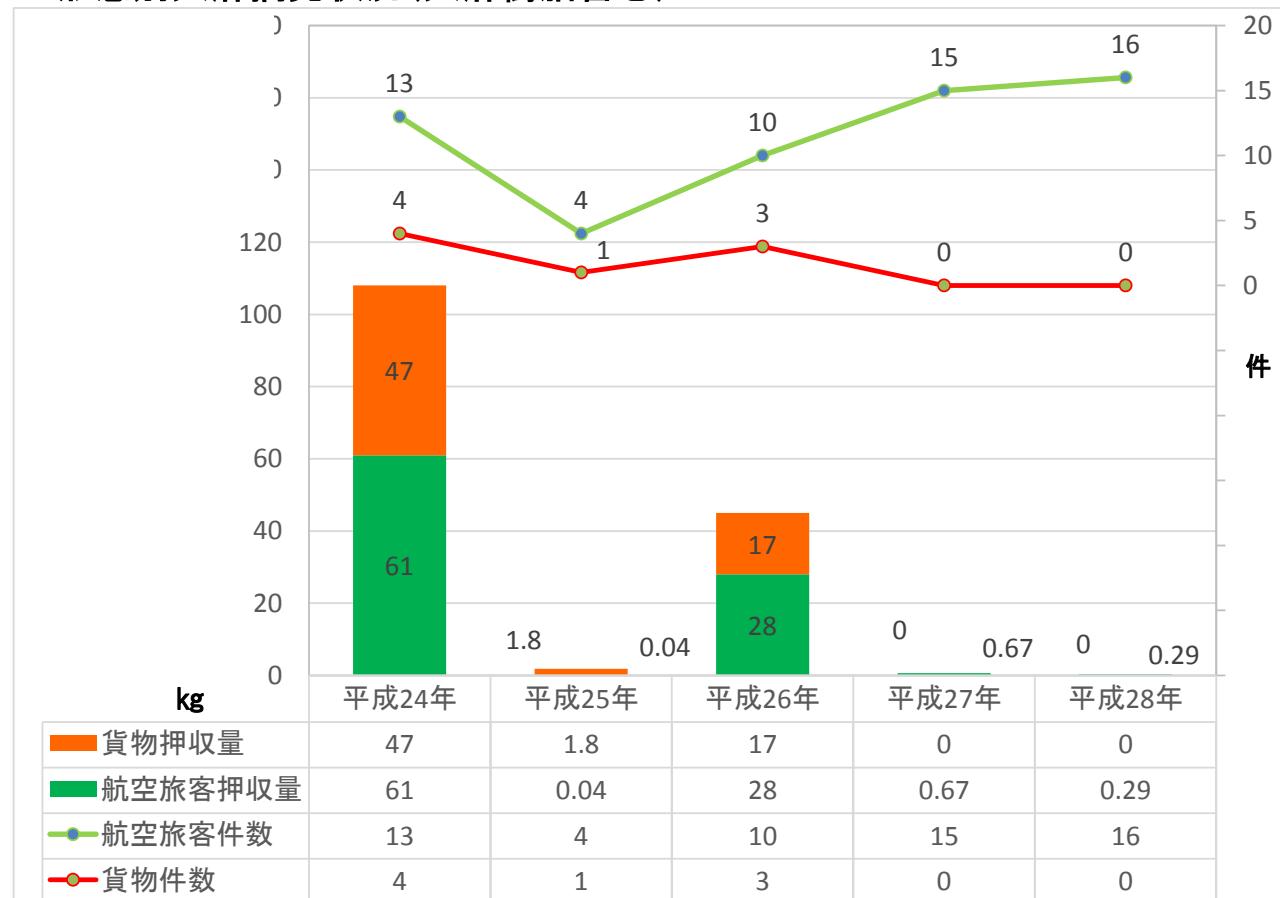
また、端数処理している為、比率や合計値が合わないことがある。

2. 形態別覚醒剤摘発状況(推移)



※なお、郵便による摘発は、平成24年4件、平成25年1件

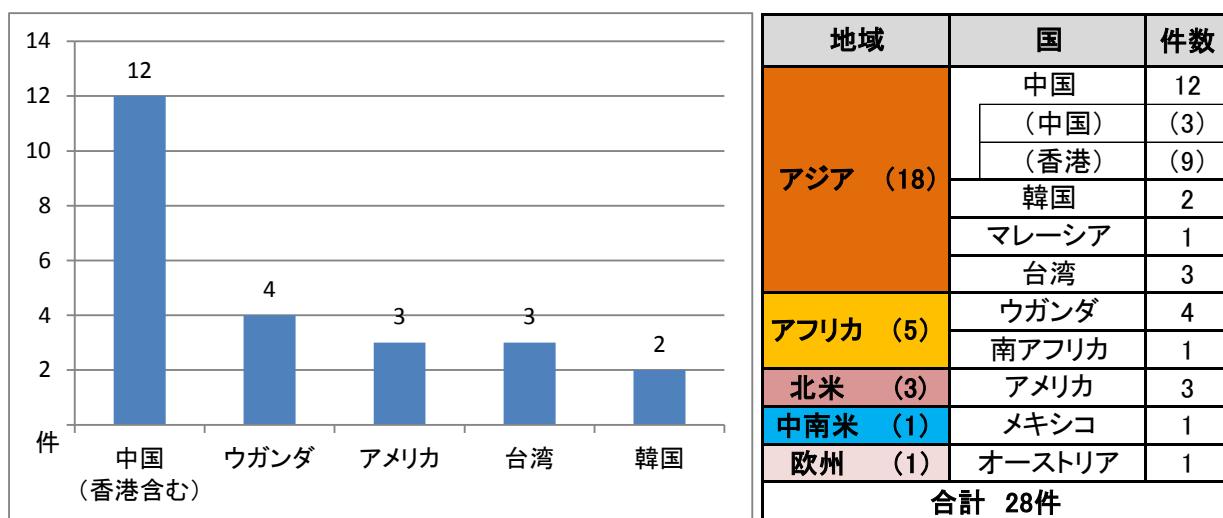
3. 形態別大麻摘発状況(大麻樹脂含む)



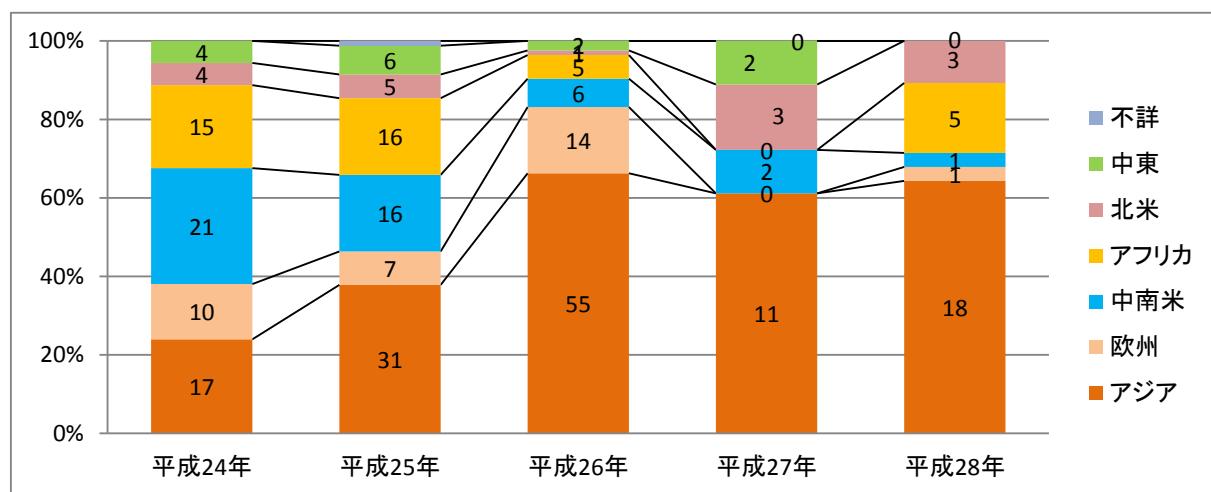
※なお、郵便による摘発は、平成24年14件、平成25年3件

4. 覚醒剤の仕出地別摘発状況

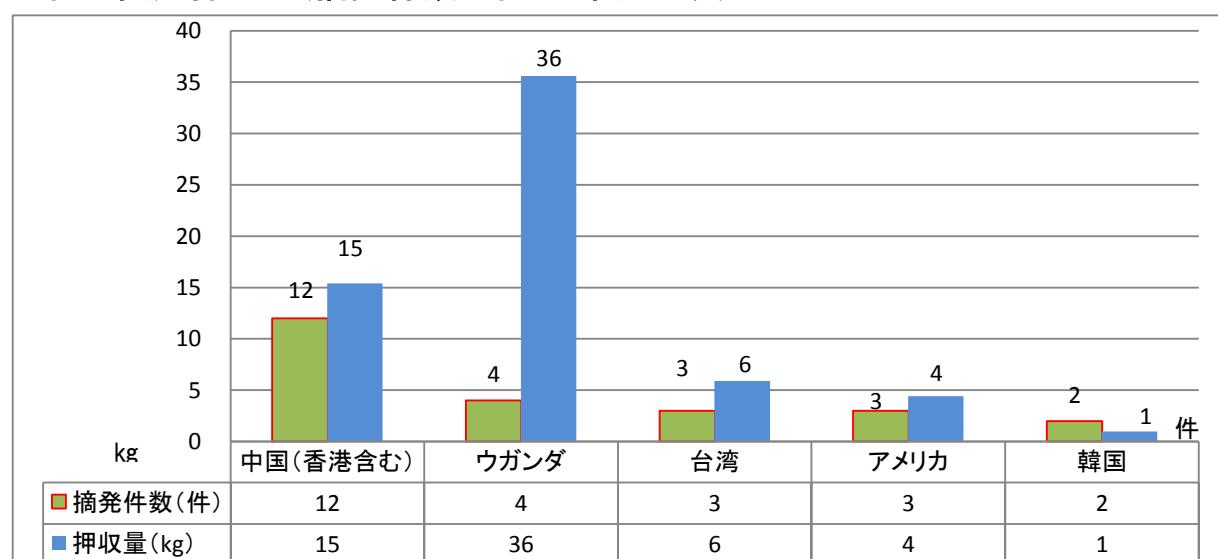
●仕出地別摘発件数上位



●仕出地域別摘発件数の推移

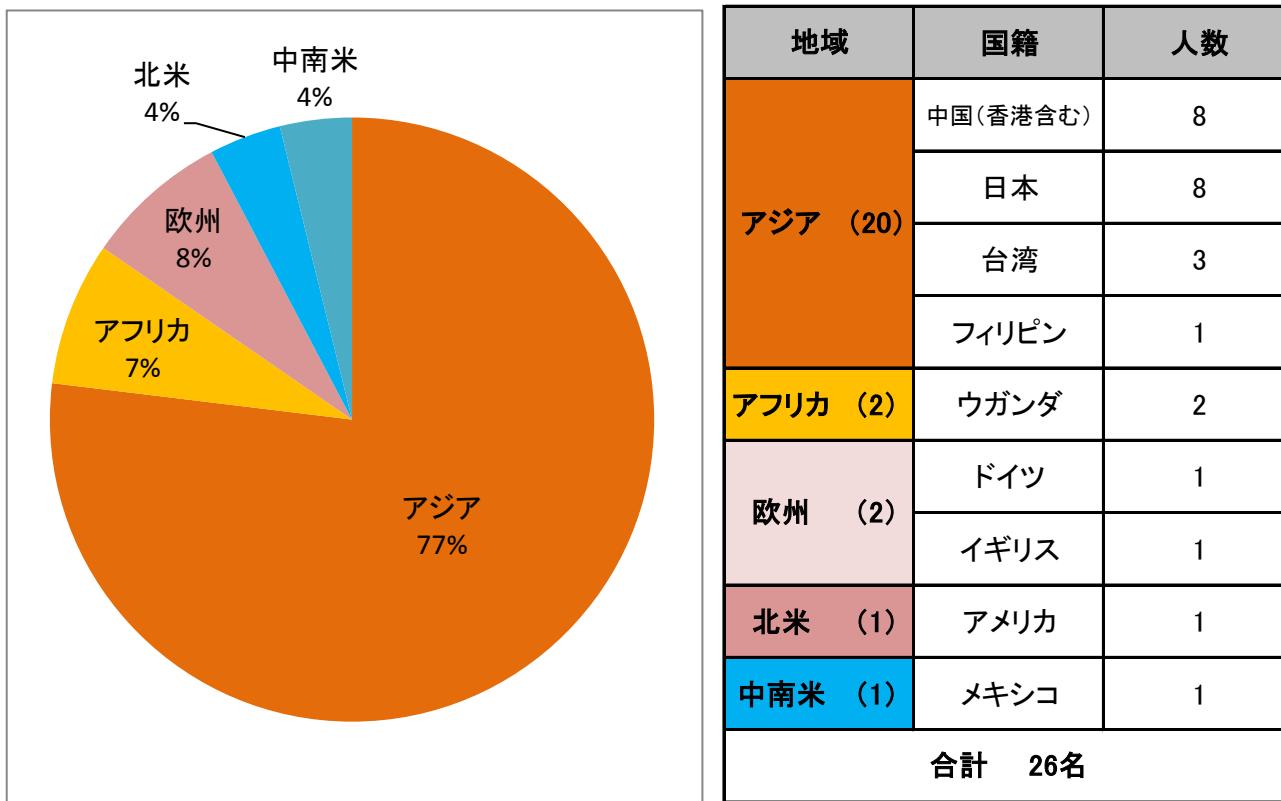


●仕出国別押収量(摘発件数上位5か国・地域)

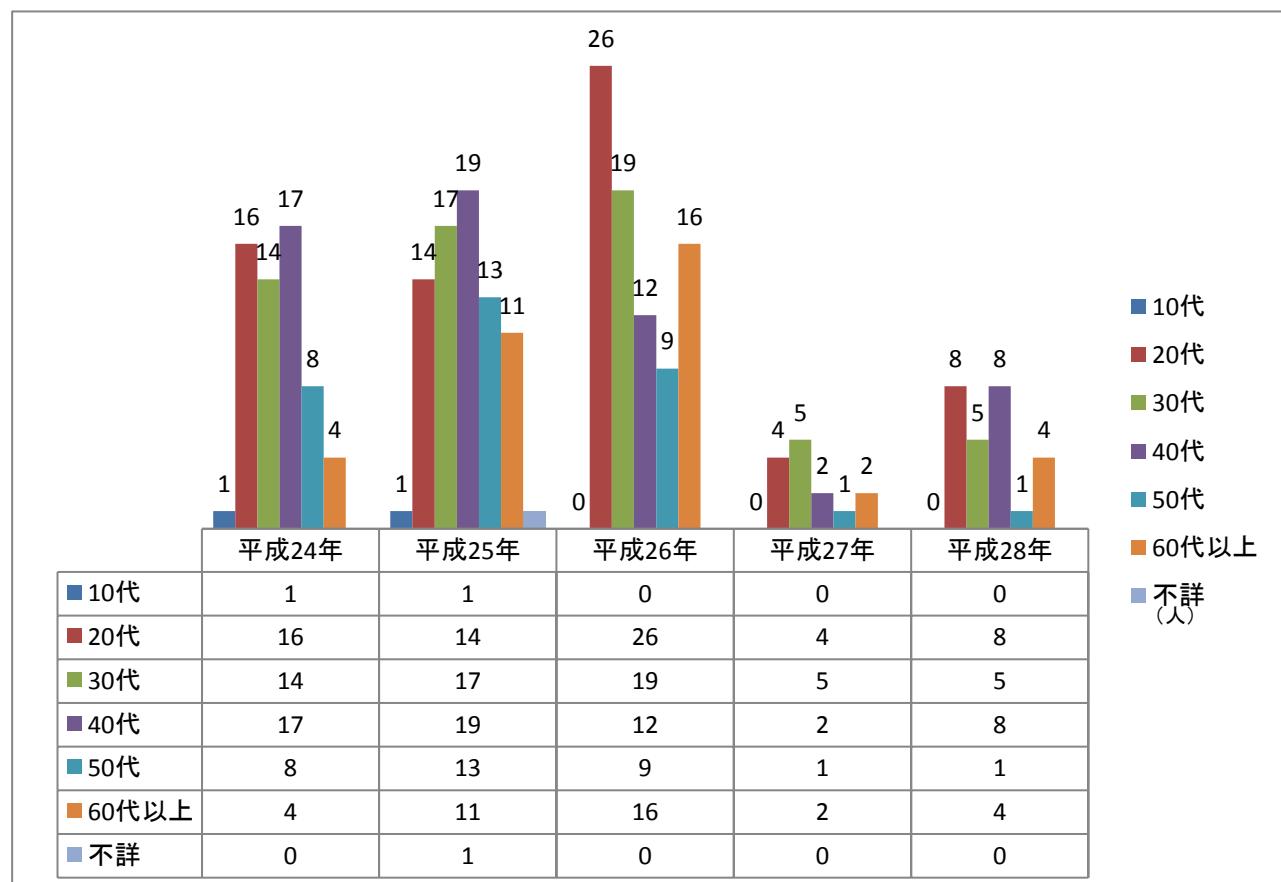


5. 覚醒剤密輸実行犯内訳【旅客】

●国籍別摘発状況



●年代別摘発状況



平成28年の成田税関支署における摘発事例

1 日本人旅客による摘発事例

①4月、韓国来日本人男性2名が所持していたナッツ入りボトルの中に隠匿されていた覚醒剤約1キログラムを摘発



②7月、米国来日本人男性2名が所持していたサプリメント小袋、チョコレート、ナッツ入りボトルの中に隠匿されていた覚醒剤約2.9キログラムを摘発



③11月、香港来日本人男女が着用していた運動靴の中に隠匿されていた覚醒剤約1キログラムを摘発



平成28年の成田税関支署における摘発事例

2 アフリカ来覚醒剤の摘発事例

①6月、南アフリカ来米国人男性が所持していた紅茶の紙箱の中に隠匿されていた覚醒剤約1.9キログラムを摘発



②10月、ウガンダ来ウガンダ人男性が所持していたコーヒー袋、カシューナッツ袋等の中に隠匿されていた覚醒剤約4.4キログラムを摘発



平成28年の成田税関支署における摘発事例

3 香港、台湾来覚醒剤の摘発事例

①6月、香港来香港人男女が着用していたパンツの中に隠匿されていた覚醒剤約2.4キログラムを摘発



②8月、台湾来台湾人男性の腹部に巻き付け隠匿されていた覚醒剤約1.9キログラムを摘発



③10月、香港来香港人男性の腹部に巻き付け隠匿されていた覚醒剤約2.8キログラムを摘発



平成28年の成田税関支署における摘発事例

4 南米来コカインの摘発事例

①7月、ペルー来ペルー人男性が所持していたプラスチックボトル、チョコレート箱の中に隠匿されていたコカイン約11キログラムを摘発



②10月、ペルー来ペルー人女性が所持していたケーキ箱、クッキー箱の中に隠匿されていた覚醒剤約9.7キログラムを摘発



平成28年の成田税関支署における摘発事例

5 過去に例を見ない手口の摘発事例

8月、オーストリア来ドイツ人男性が携行していたスーツケースと一体形成（覚醒剤を樹脂様のものにねり込んでスーツケースの内側に塗り固めるようにして隠匿）された覚醒剤を摘発

